

沼津アルプス & 金冠山山行報告

【山行日】 2024年3月30～31日(土日)

【集 合】 岩舟支所P AM 5:00

【費 用】 マイカー2台 : 16,300円

【メンバー】 CL:鈴木 SL:大西

飯口、飯野、植竹、大塚、石澤、関、福島、渡邊

3月30日(土) 晴れ 香陵台登山口から香貫山に登り、横山から徳倉山、志下坂峠を經由して鷲頭山まで縦走し、多比に下る。

岩舟支所 P5:00=香陵台登山口 P7:45/8:00～

八重坂峠 9:15～横山 9:45～徳倉山 10:35/10:55～

志下坂峠 11:25/11:30～奥駿河展望所 11:45/11:55～鷲頭山 12:35/13:15～多比バス停 14:50/15:00
=伊東園ホテル土肥 15:45

金冠山に登りたいというリクエストがあり金冠山だけではもったいないので、沼津アルプスや達磨山と併せて宿泊山行を計画した。出発する前にハプニングが起こった。K 澤さんが岩舟支所に向か



う途中、信号待ちで外国人運転の車に追突されスマホを取り出す間に逃げられたと TEL が入る。「警察に連絡し現場検証を行うので少し遅れる」とのことで、栃木市運動公園で待ち合わせることにした。栃木市運動公園に着くとすでにK 澤さんは到着しており、車は傷ついたが身体に異常はないとのことで、車に乗り出発する。栃木ICから東北道に入り、圏央道から東名高速を走り沼津ICで降りる。沼津市役所近くの香陵台駐車場に車を止め、トイレを済ませて準備を整える。

ここからは富士山が大きく見え、五重塔と富士山をバックに記念写真を撮り香貫山へ向かって出発

する。香貫山へは山道と舗装道路を歩くコースがあるが、傾斜が緩やかな舗装道路を歩いて行く。途中に近道の標識があり、急な山道を登ると香貫山山頂に出る。山頂は良く整備されており、展望檣やモニュメントがあり富士山をバックに記念写真を撮る。山頂から下ると大きな通りに出て、左に200mほど歩くと八重坂峠の登山口に出る。ここからは本格的な登山道を歩くようになり、ロープが付けられた急坂を登ると横山山頂に着く。ここから横山峠まで下り、徳倉山への急登が始まる。斜面にはクサリの手すり設置されているが、一步一步慎重に登って行く。急坂を登り切ると山頂に着き、広く平坦な山頂では多くの登山者が休憩していた。



山頂標識の横の樹間から富士山が望め、富士山をバックに記念写真を撮る。広い草地に腰を下ろして、冷たいスイカを食べて水分を補給する。ここからは自然林の快適な尾根歩きが続き、緩やかなアップダウンを繰り返していくつかのピークを越えて行く。やがてロープのある急坂を下ると志下坂峠に出て、登り返すとカヤトの草原に出て馬込峠から志下峠と続く。馬込峠から志下峠の稜線は視界が開けた平坦な草原となっており、駿河湾を眼下に見ながら爽快に歩ける。オオシマ桜やクサボケの花を見ながら歩き、ビューポイントには案内標識が立っている。奥駿河パノラマ台と標識が立つビューポイントで休憩し、展望を楽しみながらバターモチをい



ただきエネルギーを補給する。志下峠から少し登ると大きな岩にぶつかり、岩の下に柵で囲われた石仏が祀られている。中将宮と言われる場所で、平清盛の五男「平重衡」が祀られたお宮らしい。この先から沼津アルプス最大の難所、鷲頭山への登りが始まる。岩交じりの急坂をロープを頼りに登って行き、傾斜が緩くなると小鷲頭山に出る。この先からさらに急傾斜の登りが待っていて、皆さんあえぎながら頑張って登って行く。登り切ると平坦な道になり、広く平坦な鷲頭山山頂に着く。山頂には案内板やベンチ、祠があり、オオシマ桜の白い花が出迎えてくれた。ここでランチタイムとし、お湯を沸かしてカップ麺やスープを作り、おにぎりやパンをいただく。各自ベンチや草むらに腰をおろし、桜の花を見ながら美味しそうに食べていた。ランチが済んだら我輩と K 澤さんが先行して下り、多比バス停から予約したタクシーに乗り香陵台の車を回収する。鷲頭山から急坂を下り、多比峠から右に登って行く。ウバメガシの岩稜を登り、今までとは違った登山道で楽しく登れる。多比口峠からは大平山に登らず、右に多比の集落を目指して下って行く。予約した時間より10分早く着くと、タクシーはすでに来ており直ぐに乗って香陵台に向かう。香陵台で車を回収し、多比バス停に戻ると皆さんが待っていた。靴を履き替えたら車に乗り、今宵の宿伊東園ホテル土肥へと向かう。伊東園ホテル土肥に着き、受付を済ませて部屋に案内される。3部屋ともオーシャンビューの明るい部屋で、皆さん大満足の様子。温泉もオーシャンビューで広く、3回入ったと言っていた。夕食はビュッフェスタイルで飲み放題も付き、それぞれ好きな物を好きなだけ食べて、好きなだけ飲んで幸せそうな顔で部屋に戻って行った。

ただきエネルギーを補給する。志下峠から少し登ると大きな岩にぶつかり、岩の下に柵で囲われた石仏が祀られている。中将宮と言われる場所で、平清盛の五男「平重衡」が祀られたお宮らしい。

この先から沼津アルプス最大の難所、鷲頭山への登りが始まる。岩交じりの急坂をロープを頼りに登って行き、傾斜が緩くなると小鷲頭山に出る。この先からさらに急傾斜の登りが待っていて、皆さんあえぎながら頑張って登って行く。登り切ると平坦な道になり、広く平坦な鷲頭山山頂に着く。山頂には案内板やベンチ、祠があり、オオシマ桜の白い花が出迎えてくれた。ここでランチタイムとし、お湯を沸かしてカップ麺やスープを作り、おにぎりやパンをいただく。各自ベンチや草むらに腰をおろし、桜の花を見ながら美味しそうに食べていた。ランチが済んだら我輩と K 澤さんが先行して下り、多比バス停から予約したタクシーに乗り香陵台の車を回収する。鷲頭山から急坂を下り、多比峠から右に登って行く。ウバメガシの岩稜を登り、今までとは違った登山道で楽しく登れる。多比口峠からは大平山に登らず、右に多比の集落を目指して下って行く。予約した時間より10分早く着くと、タクシーはすでに来ており直ぐに乗って香陵台に向かう。香陵台で車を回収し、多比バス停に戻ると皆さんが待っていた。靴を履き替えたら車に乗り、今宵の宿伊東園ホテル土肥へと向かう。伊東園ホテル土肥に着き、受付を済ませて部屋に案内される。3部屋ともオーシャンビューの明るい部屋で、皆さん大満足の様子。温泉もオーシャンビューで広く、3回入ったと言っていた。夕食はビュッフェスタイルで飲み放題も付き、それぞれ好きな物を好きなだけ食べて、好きなだけ飲んで幸せそうな顔で部屋に戻って行った。



ここでランチタイムとし、お湯を沸かしてカップ麺やスープを作り、おにぎりやパンをいただく。各自ベンチや草むらに腰をおろし、桜の花を見ながら美味しそうに食べていた。ランチが済んだら我輩と K 澤さんが先行して下り、多比バス停から予約したタクシーに乗り香陵台の車を回収する。鷲頭山から急坂を下り、多比峠から右に登って行く。ウバメガシの岩稜を登り、今までとは違った登山道で楽しく登れる。多比口峠からは大平山に登らず、右に多比の集落を目指して下って行く。予約した時間より10分早く着くと、タクシーはすでに来ており直ぐに乗って香陵台に向かう。香陵台で車を回収し、多比バス停に戻ると皆さんが待っていた。靴を履き替えたら車に乗り、今宵の宿伊東園ホテル土肥へと向かう。伊東園ホテル土肥に着き、受付を済ませて部屋に案内される。3部屋ともオーシャンビューの明るい部屋で、皆さん大満足の様子。温泉もオーシャンビューで広く、3回入ったと言っていた。夕食はビュッフェスタイルで飲み放題も付き、それぞれ好きな物を好きなだけ食べて、好きなだけ飲んで幸せそうな顔で部屋に戻って行った。



ここでランチタイムとし、お湯を沸かしてカップ麺やスープを作り、おにぎりやパンをいただく。各自ベンチや草むらに腰をおろし、桜の花を見ながら美味しそうに食べていた。ランチが済んだら我輩と K 澤さんが先行して下り、多比バス停から予約したタクシーに乗り香陵台の車を回収する。鷲頭山から急坂を下り、多比峠から右に登って行く。ウバメガシの岩稜を登り、今までとは違った登山道で楽しく登れる。多比口峠からは大平山に登らず、右に多比の集落を目指して下って行く。予約した時間より10分早く着くと、タクシーはすでに来ており直ぐに乗って香陵台に向かう。香陵台で車を回収し、多比バス停に戻ると皆さんが待っていた。靴を履き替えたら車に乗り、今宵の宿伊東園ホテル土肥へと向かう。伊東園ホテル土肥に着き、受付を済ませて部屋に案内される。3部屋ともオーシャンビューの明るい部屋で、皆さん大満足の様子。温泉もオーシャンビューで広く、3回入ったと言っていた。夕食はビュッフェスタイルで飲み放題も付き、それぞれ好きな物を好きなだけ食べて、好きなだけ飲んで幸せそうな顔で部屋に戻って行った。

3月31日(日) 晴れ ホテルを出発し戸田峠 P に車を止めて金冠山にピストンで登り、戸田峠 P から達磨山に登り古希山、伽藍山を經由して土肥駐車場に下山し、岩舟支所に帰着する。

伊東園ホテル土肥 8:20＝達磨山高原P8:50/8:55＝戸田峠 P9:00/9:10～金冠山 9:20/9:35～

戸田峠 P9:50～達磨山 10:50/11:10～古希山 11:40～伽藍山 12:20～土肥 P12:25/12:30＝足柄 SA

13:30/14:10＝岩舟支所 P17:30

朝5:00に起きて温泉に浸かり、海の景色を堪能した。7:00から朝食なので5分前に部屋を出て、



レストラン前に待機する。7:00丁度に扉が開き、各自好きな物を取って席に着く。皆さんビュッフェは大好きなようで、満足そうに食べていた。朝食が済んだら部屋に戻り、出発の準備をして駐車場に出る。ホテルを出て戸田峠に向かうが、道路の桜並木が昨日の暖かさで一気に咲いていた。

達磨山高原Pでトイレを済ませ、戸田峠に戻って車を止める。準備を整えストレッチを済ませたら出発し、道路を渡って金冠山への広い登

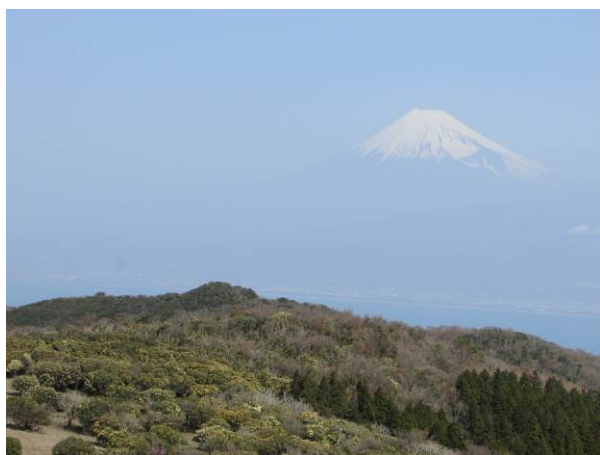
山道を登って行く。アセビの純林の道を登って行くが、アセビの大木が花を付け見事だった。直ぐに

金冠山山頂に着き、ここからの展望は素晴らしかった。駿河湾の向こうに昨日登った沼津アルプスがみえ、その上に雄大な富士山が聳えている。リクエストしたI口さんが「ガイドブックの写真で見たこの景色を観たかったです」と満足そうに話していた。

富士山をバックに記念写真を撮り、それぞれがスマホに収めたり景色を楽しんだりしていた。眺望を楽しんだら来た道に戻り、戸田峠から反対側の達磨山に向かって登って行く。今日歩く稜線は伊豆山稜線歩道の一部で、



富士山の姿を見ながら歩くビューティフルなトレイルである。人気のトレイルなのでハイカーも多く、すれ違いが大変である。まずは小達磨山目指して登り、アセビの林を抜けると笹原の道になり、振り返ると金冠山の上に富士山が美しい。小達磨山は灌木帯の中で展望は良くないが、一旦下って道路を歩き登り返すと再び優美な富士山が微笑んでくれる。笹原の道を登ると達磨山山頂に着き、本日最高点からは360度の大パノラマが広がり皆さん大感動！！



山頂でデコポンや菓子をいただき、大パノラマを楽しむ。

ここから皆さんは南に向かって古希山を目指し、我輩とK 澤さんは往路を戻って戸田峠 P に戻り車を回収する。金冠山で会ったオジサンが、この先の古希山から見た富士山は、達磨山の上に見え写真に撮ると素晴らしいと教えてくれた。



皆さんに古希山山頂から富士山を撮るように伝え、我輩たちは戸田峠に向かって下って行く。下りは富士山を見ながら下れるので、とても楽しく下れる。戸田峠に着いたら靴を履き替え、車に乗って土肥駐車場へ向かう。伽藍山先の道路を皆さんが歩いており、すぐ先の土肥駐車場で皆さんと合流する。靴を履き替えたら車に乗り帰路につく。帰路はナビ任せで運転したが、ナビがいい加減で伊豆縦貫道を外れて時間をロスする。ようやく新東名高速道に入り、東名高速の足柄SAで遅い昼食をいただく。

昼食が済んで帰路に着くが、足柄SAを出るのに時間が掛かってしまった。足柄SAを出た所で多重衝突事故があり、駐車場を出るだけで50分掛かってしまった。事故渋滞を抜けるとスムーズに走り、予定より30分遅れて岩舟支所 P に帰着した。2日間黄砂の影響で視界が良くないと思ったが、2日間共素晴らしい富士山を眺められ大満足の山行となった。